瀬戸市テニス協会
会報 STK
2019年7月号 No. 137

Setosi Tennis Kyokai
since 1973

←協会ロゴ＆エンブレム
2016年7月制定。前協会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」を3モチーフに中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表徴。「ボール追って、流そう爽やかな汗！」。1973は協会創立年。半世紀近い歴史。

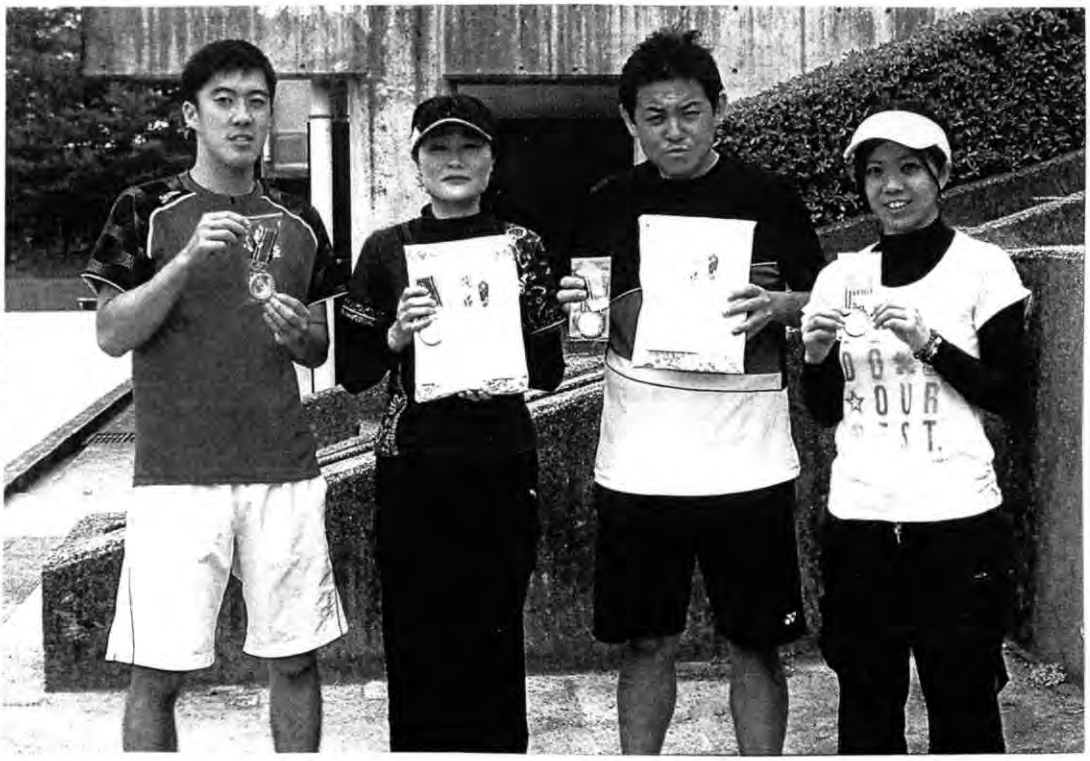
時の顔

18歳 日本代表
久保建英(たけふさ)6月4日・18歳。日本A代表。背番号27。9日、エルサルバドル戦(宮城)でデビュー。レアル・マドリード移籍へ。

小林・川口組 初V

ミックス大会 中筋・渡部組を振り切る

第25回「ミックスダブルス大会」(先着64組募集)は、6月23日(日)、市民公園A・Bで開催。参加47組。決勝は互いに初出場で初優勝をめざす小林雄太(ウィル瀬戸)・川口綾(ARP)組と中筋孝臣・渡部菜奈美組(フリー)。ハイレベルな攻守を展開。終始リードを保った小林・川口組が6−3で押し切った。JUEGO同士の3決は小出・池本組が快勝。



ハイレベル攻防の末
初優勝した小林雄太・川口綾組㊧と準優勝の中筋孝臣・渡部菜奈美組㊧

47ペア参加

前年3位の小出・池本組が第1シード。一昨年Vの佐藤・沖胡組が第2シード。

準決勝は予想に違わぬ好カード——

小出・池本組−小林・川口組
中筋・渡部組−佐藤・沖胡組

第1シードを突き放す

小林・川口組は最難関・第1シードの小出・池本組。男子は互いに強サーブ。女子レシーバーがリターンに苦しむ・女子のサーブを男子に狙い打たれるのは想定内。前を川口に任せてネットへは出ず、後方を全面カバー、ストローク戦に持ち込む小林。前で相手の甘い返球を待ち構える川口。小出・池本組も懸命に対抗したが及ばず、6−4で小林・川口組。

リード…一気に決着

中筋・渡部組は佐藤・沖胡組にリードを広げて5−1。「一気に決めるよ！」と自軍にカツ。独特のジョークでペアを元気づけ、周囲を笑わせながらも勝ち切って決勝進出。

力戦の決勝 スタンド沸く

決勝は小林・川口組が中盤3−2から4−2とリードしたが、中筋・渡部が川口のサーブを破って1ゲーム差に迫る接戦。

4−3の勝負所から小林・川口組が2ゲームを連取して初優勝を決めた。

強打、巧打、好守の応酬。男子の豪打に耐える双方の女子。見ごたえのある決勝はスタンドを大いに沸かせた。

［ミックス大会 成績］

優　勝＝小林雄太・川口　綾組（ウィル瀬戸・ARP）
準優勝＝中筋孝臣・渡部菜奈美組（フリー）
第3位＝小出真弘・池本麻里絵組（JUEGO）
佐藤久義・沖胡美紀組（JUEGO）

コンソレ優勝＝足立秀禎・松堂佐和子組
準優勝＝和田祐記・和田美帆組
第3位＝山田一夫・山田理恵子組
磯村和信・水谷千津留組

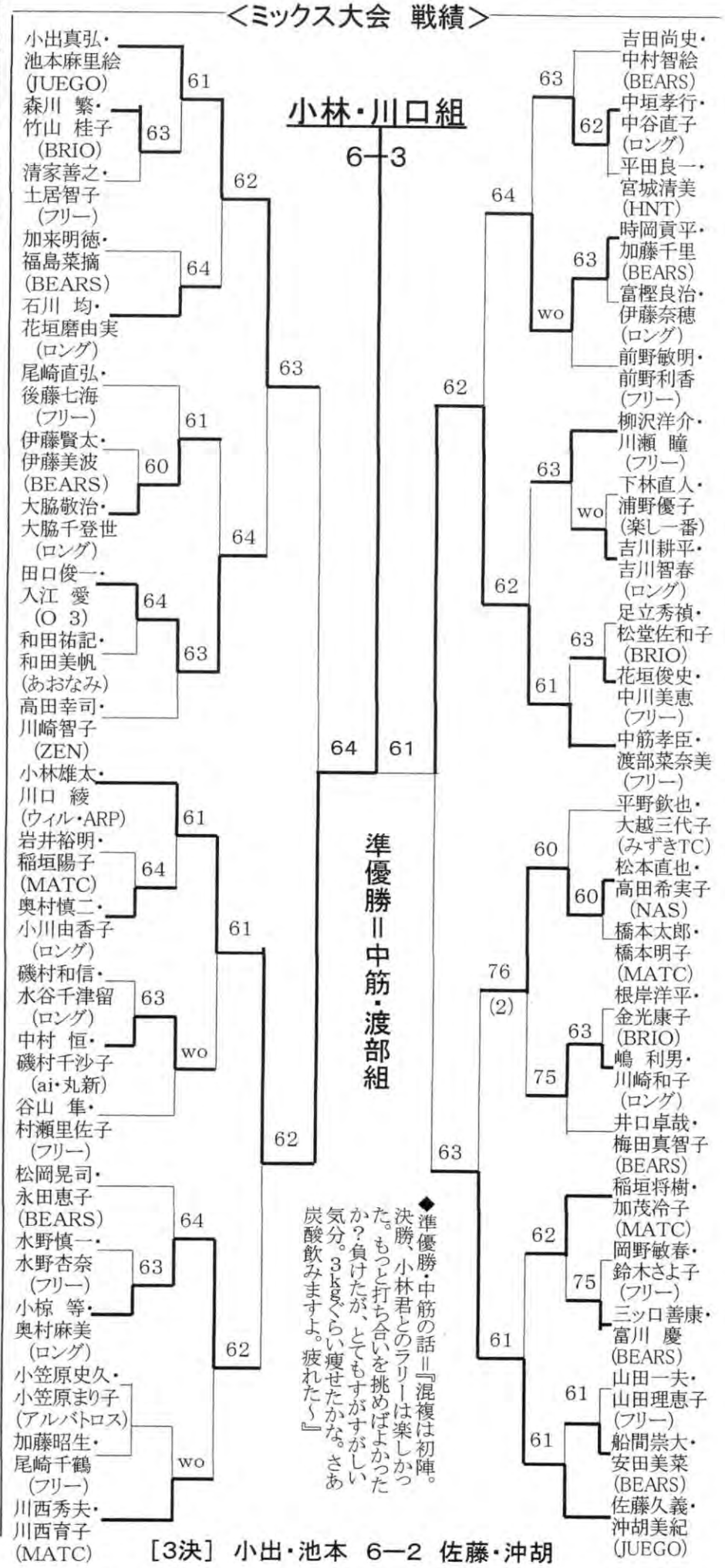
3決 JUEGO対決 小出・池本組が佐藤・沖胡下す

3決はともに2度目Vの夢がついえたJUEGO同士の対決。互いに手の内を知り尽くす。15年Vの小出・池本組が17年覇者の佐藤・沖胡組に序盤からリードを奪い6−2で快勝。第1シードの意地。

←決勝進めず 小出・池本、佐藤・沖胡

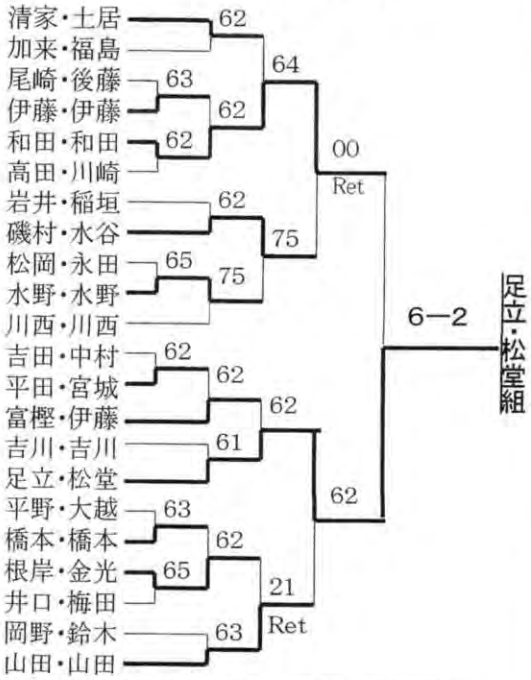
「JUEGO」3決　勝った小出・池本組㊨と敗れた佐藤・沖胡組㊧

＜ミックス大会 戦績＞



◆準優勝・中筋の話＝『混複は初陣。決勝、小林君とのラリーは楽しかった。もっと打ち合いを挑めばよかったか？負けたが、とてもすがすがしい気分。3kgぐらい痩せたかな。さあ炭酸飲みますよ。疲れた～』

＜コンソレ 戦績＞



コンソレVの足立・松堂（前左）、準Vの和田・和田（前右）、3位の山田・山田（後右）と磯村（後左）

コンソレ 足立・松堂組V

コンソレ決勝は足立・松堂組が和田・和田組に6—2で快勝。足立の巧みな攻守が光った。

3決は左足を痛めた磯村組が棄権。

次回の「表街道」での活躍を誓い合った。

［混複大会本戦 近年の優勝ペア］

00年	菅野英男・長江勝子
01年	横山高雄・加藤由美
02年	横山高雄・長谷川純子
03年	紀平裕介・長坂有希子
04年	田中 稔・髙木淳子
05年	加藤智之・飛山るみ子
06年	山本尚史・大島千沙子
07年	下林直人・遠藤美紀子
08年	黒瀬達也・川口 綾
09年	山本尚史・柴山千沙子
10年	山本尚史・柴山千沙子
11年	下林直人・髙木淳子
12年	河本政義・清谷千佳
13年	村井清隆・原田沙知
14年	森川 繁・竹山桂子
15年	小出真弘・池本麻里絵
16年	信永尚人・粂 昭恵
17年	佐藤久義・沖胡美紀
18年	畑 亮介・安藤美奈
19年	小林雄太・川口 綾

ナイター練習会

（10月まで・全て市民公園Aで）

[月　日]	[時間]	[面数]
7月　3日（水）	19時～21時	3個面
10日（水）	19時～21時	3個面
17日（水）	19時～21時	3個面
24日（水）	19時～21時	3個面
8月　7日（水）	19時～21時	3個面
14日（水）	19時～21時	3個面
21日（水）	19時～21時	3個面
28日（水）	19時～21時	3個面
9月　4日（水）	19時～21時	3個面
11日（水）	19時～21時	3個面
14日（土）	17時～21時	3個面
18日（水）	19時～21時	3個面
10月2日（水）	19時～21時	3個面
9日（水）	19時～21時	3個面
12日（土）	17時～21時	3個面
19日（土）	17時～21時	3個面

（許可証は倉庫内の書類ファイルにあります）

審判（ルール）講習会

10月20日（日）午前9時～午後1時
南が丘・4個面で

「球出し」学ぶ ルールも確認

指導者講習と審判講習会

指導者講習会（市民公園Aで）

指導者講習会は6月1日、8日の土曜2回、市民公園で午後5時から実施。教室の球出し・コーチ役の育成と技術向上が目的。元瀬戸テニスコーチの協会員・高島基裕運営理事を講師に約15人が参加。

球出しや指導のコツ、効果的な指導法などを各2時間学んだ。のち9時まで自由練習。

◇

審判（ルール）講習会は南ケ丘コート4面で6月16日（日）午前9時から4時間実施。協会員20人が参加。今季ルール改正点を復習。試合中に起こるトラブルを具体的に挙げて正しい措置を学び、その後はダブルスゲームを楽しんだ。

レディース教室終了

4月3日に始まった「レディース教室」が6月5日、閉講した。今回で21回目。受講5人。市民公園Aで水曜午前9時から各2時間、全8回。ストローク、ボレー、スマッシュ、サーブと進み、ルール&マナーも学び、最終回後半は実戦ダブルス。セルフジャッジ、カウントコールに戸惑いながらも白熱戦を見せた。

クイズ3Q

Q1：今年の混複大会、エントリーは何組？
Q2：市民大会一般男子単、決勝は誰と誰？
Q3：大坂なおみ世界1位陥落。新女王は？

大会など日程

★第29回 瀬戸地方高校新人戦

7月27日（土）、29日（月）の両日、市民公園A・Bで午前7時～午後5時。瀬戸市と近郊高校1、2年生男女の単複。参加費＝1人800円。予備日＝7月30日（火）。学校関係者に直接案内。

★ナイターテニス教室

8月3日、10日、17日、24日の土曜4回。市民公園Aで午後6時～9時のナイター。瀬戸市内在住・在勤・在学または協会員。先着60人募集。参加費＝1人4，500円。受付＝7月3日～31日。予備日＝8月31日（土）、9月7日（土）。7月1日付け広報掲載。

第30回 瀬戸市選手権

9月1日（日）、市民公園A・Bで午前8時20分～午後7時。時差集合。コートは午前7時から使用可。先着男子64人・女子32人。シングルスのみ。参加費＝1人1，000円（協会員も有料）。受付＝8月1日～14日。予備日＝9月8日（日）。8月1日付け広報掲載。

第14回 100歳ダブルス大会

9月7日（土）午前9時～午後7時・市民公園で（午前7時からコート使用可）。今年末年齢で男子複＝計100歳、混合複＝計90歳、女子複＝計80歳以上の統合戦。市内在住・在勤または協会員。先着48組募集。参加費＝1組2，000円（協会員は無料）。受付＝8月1日～21日。予備日＝9月21日（土）。8月1日付け広報掲載。

★ レディースチャレンジ大会

第13回。10月2日（水）、市民公園Aで午前9時から午後1時。市内在住・在勤または協会員女性のダブルス。教室受講者向き・中級者程度まで（上級者はご遠慮下さい）。先着順32組。参加費＝1組2，000円（協会員は無料）。受付＝9月4日～18日。予備日＝10月2日（水）。9月1日付け広報掲載。

★ 秋季大会

10月6日（日）市民公園A・Bで午前8時20分集合（時差集合あり）。8時30分開始、午後7時まで（午前7時からコート使用可）。男子1部・2部・壮年（50歳以上）。女子1部・2部・壮年（50歳以上）。壮年、女子は午前9時30分開始。市内在住・在勤または協会員のダブルス。先着合計120組募集。参加費＝1組2，000円（協会員は無料）。受付＝9月4日～18日。予備日＝10月13日（日）。9月1日付け広報掲載。

旭戦は11月17日（日）

日進市役所を訪問、市長に「全中」での活躍を誓う日進中の小林さん（3年・右）と渡辺さん（1年・左）

「全中」必勝よ！ 誓う日進中ペア

小林さん・渡辺さん

8月に大阪で開かれる「全国中学生テニス選手権（全中）」に出場する日進中学の2選手が6月19日、市役所を訪れた。

小林海夢さん（3年・同市東山）と渡辺菜央さん（1年・岩崎町）。5月の東海地区大会・女子複で準優勝し全国大会への切符をつかんだ。小林さんは単でも8強入りして出場権獲得。

学校に硬式テニス部はなく、2人は校外のクラブに所属して練習を積む。ペアを組んだばかりの4月の県大会、東海大会では劣勢から何度も逆転勝ちの粘り強さ。

小林さんは「最後の全中。納得のいくプレーをしたい」と意気込みを語り、渡辺さんは「まずは1勝をめざして頑張る」と抱負。市長から「気負わず、いつもの気持ちでプレーを」と激励を受けた。

会費振り込みはこの口座へ

◆瀬戸信用金庫（新設）　店名＝山口支店　店番＝044　普通貯金口座番号＝0852209　瀬戸市テニス協会会長・稲垣将樹

◆ゆうちょ銀行　店名＝二〇八　店番＝208　普通貯金口座番号＝1411190　瀬戸市テニス協会

◆今年の会員番号は瀬戸市テニス協会ホームページ掲載。大会エントリーに必要です。

7年ぶり5度目 優勝

八百山にタイブレ辛勝 複は酒井・磯村 女複は塚本・水谷

瀬戸市制90年周記念・第70回市民大会は5月26日(日)市民公園で開催。一般男子単、高校男女複はAコート。一般男子複、女子複、混合複。シニア単はBコート。一般男子単は奥村孝二(フリー)が八百山浩幸(愛牧)にタイブレで辛勝して7年ぶり5度目の優勝。男子複は酒井真樹・磯村和信組(T−B)、女子複は塚本聡子・水谷千津留組(フリー)、混合複は梅村和久・加茂冷子組(MATC)が初V。シニア単は磯村信芳(T−B)が連覇。

八百山猛追…力尽きる

28人出場の一般男子単。いい決勝を見せてもらいました。

前年3位・奥村と2度目Vをめざす八百山。3−5の劣勢から八百山が驚異の反撃。ブレークバックして4−5のサービスゲーム。開き直りのサーブと攻めの強打で6度のマッチポイントをしのいで6−6に追いついた！タイブレ。我慢のスライス戦、勝負のフォア——激闘の末、奥村の7−4。

奥村は「5−3から6−6…苦しかった。足はもう限界でした」と話す。

3決は加藤棄権。

男複決勝も激闘 7−5

男子複9組。酒井・磯村組と菊池・寺澤組の決勝。5−5から酒井のロブ、磯村の機敏さを生かして初V。2回戦で強豪の石川・加藤組を倒した原川・前野組は準決勝完敗。3決は松岡・宮家組が6−3で制した。

混複 梅村・加茂組が初制覇

混複優勝の梅村・加茂組(前右)、準優勝の伊藤賢太・伊藤美波組(前左)、3位の小笠原・小笠原組(後右)と川西・川西組(後左)

女子複を制した塚本・水谷組(前右)、準優勝の安田・富川組(前右)、3位の中野(＝不在)・加藤組(後右)と橋本・稲垣組(後左)

難関突破し塚本・水谷組

女子複は5組。塚本・水谷組が初戦快勝。準決勝で難関の中野・加藤組に6−3で快勝。波に乗って決勝も安田・富川組に完勝して初優勝。

〈市民大会 成績〉

◇一般男子単(参加28人)
優　勝＝奥村　孝二(フリー)
準優勝＝八百山浩幸(愛牧)
第3位＝酒井将矢(YTC)
加藤隆久(フリー)

◇一般男子複(9組)
優　勝＝酒井真樹・磯村和久(T−B)
準優勝＝菊池唯史・寺澤良平(BEARS)
第3位＝松岡晃司・宮家秀二(BEARS)
原川道隆・前野敏明(フリー)

◇一般女子複(5組)
優　勝＝塚本聡美・水谷千津留(フリー)
準優勝＝安田美菜・富川　慶(BEARS)
第3位＝中野久美子・加藤千里(丸新)
橋本明子・稲垣陽子(MATC)

◇混合複(9組)
優　勝＝梅村和久・加茂冷子(MATC)
準優勝＝伊藤賢太・伊藤美波(BEARS)
第3位＝小笠原史久・小笠原まり子(アルバトロス)
川西秀夫・川西育子(MATC)

◇シニア単(男女統合戦・5人)
優　勝＝磯村信芳(T−B)
準優勝＝谷口元之(協会)
第3位＝上原美与子(祖東ク)
渋谷尚紀(スマート)

◇高校男子複(16組)
優　勝＝織田瑠聖・大内之裕(瀬戸窯業)
準優勝＝長江峻佑・堀内光輝(瀬戸窯業)
第3位＝高橋　慶・石田翔悟(瀬戸窯業)
深見玲苑・浅井遥稀(瀬戸窯業)

◇高校女子複(7組)
優　勝＝横山若音・澤田なな美(聖霊)
準優勝＝泉家彩乃・堺　汐李(聖霊)
第3位＝木内楓乃・江原里紗(聖霊)
栗林希帆・溝口妃乃(聖霊)

〔市民大会 近年の覇者〕

[年]	[男子単]	[男子複]	[女子複]	[混合複]	[シニア単]
04	近藤峰夫	林　浩次・黒野眞市	鈴木時子・髙木淳子		
05	奥村孝二	高間　博・吉田秀樹	加藤貴子・小山奈穂		
06	日比野有高	佐野　悟・黒野眞市	髙木淳子・松原由布子		
07	髙木　順	佐野　悟・黒野眞市	吉田伸子・髙木淳子		
08	奥村孝二	中垣孝行・加藤英記	加藤貴子・小山奈穂	山本尚史・清谷千佳	
09	奥村孝二	中垣孝行・加藤英記	髙木淳子・松原由布子	小笠原史久・小笠原まり子	
10	髙木　順	恒川　卓・大橋　圭	嶺井純子・志水綾子	川西秀夫・加茂冷子	
11	髙木　順	梅村和久・稲垣将樹	中野久美子・柴山千沙子	川西秀夫・川西育子	
12	奥村孝二	加藤昌也・岩田和也	林部千佳子・飛山るみ子	川西秀夫・加茂冷子	
13	八百山浩幸	川西秀夫・高島基裕	志水綾子・中川恵美	川西健太・榎谷梨香	
14	加藤智之	村井裕二郎・水谷裕紀	髙木淳子・加茂冷子	川西健太・川西育子	髙木淳子
15	加藤智之	森田将文・村松祐次	小境陽子・古橋葉月	藤田隆博・藤田由佳	髙木淳子
16	髙木亘紀	中垣孝行・滝川昌宏	横山直美・立元香里	古賀昭一・中野久美子	松元一彦
17	水谷裕紀	小島将斗・水田知則	塚本聡美・立元香里	岩井裕明・加茂冷子	近藤峰夫
18	髙木亘紀	加藤智之・小林雄太	立元香里・横山直美	水野慎一・水野杏奈	松元一彦
19	奥村孝二	酒井真樹・磯村和信	塚本聡美・水谷千津留	梅村和久・加茂冷子	磯村信芳
					磯村信芳

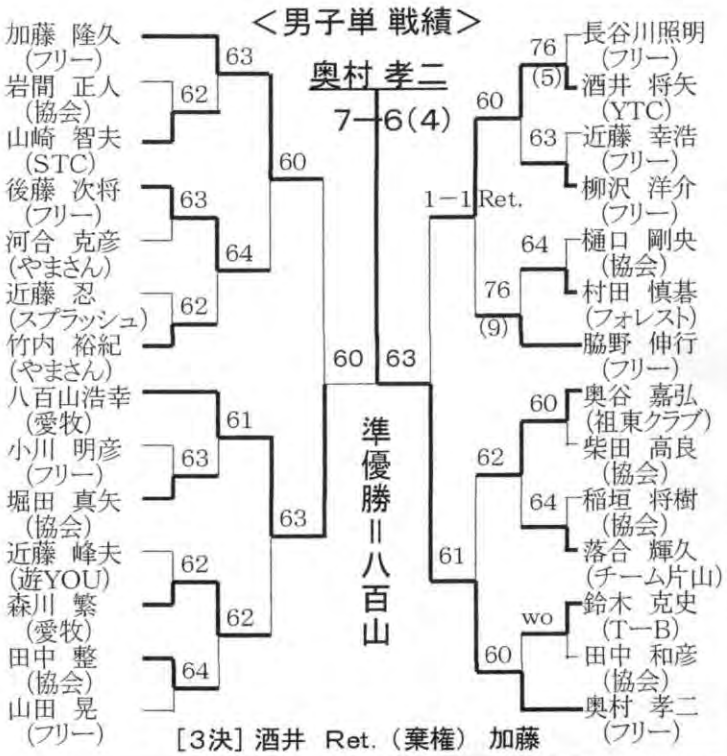
市外の協会員は出場不可

市民大会出場資格は瀬戸市内在住または在勤者に限る。協会員でも市外の方は出場できません。

市民大会 男子単 奥村

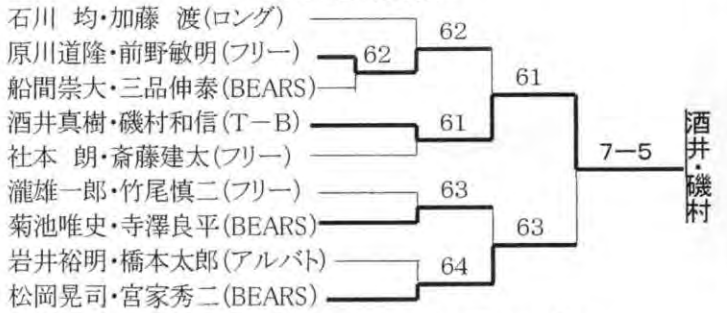
右から男子単3位・酒井、5度目Vの奥村、準優勝・八百山、3位・加藤

＜男子単 戦績＞



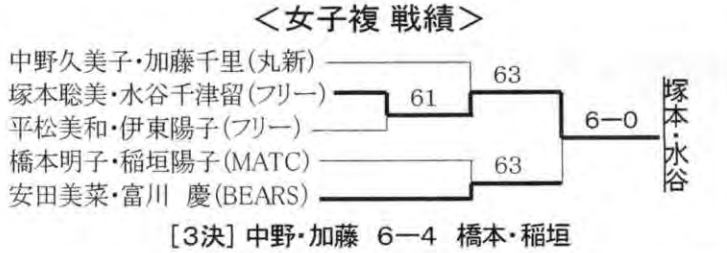
［3決］酒井 Ret.（棄権） 加藤

＜男子複 戦績＞



［3決］松岡・宮家 6−3 原川・前野

＜女子複 戦績＞

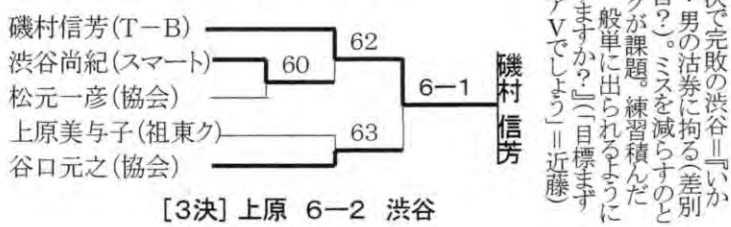


［3決］中野・加藤 6−4 橋本・稲垣

＜混複 戦績＞

［3決］小笠原・小笠原 7−5 川西・川西

＜シニア単 戦績＞



［3決］上原 6−2 渋谷

男子複優勝の酒井・磯村組(前右)、準優勝の菊池・寺澤組(前左)、3位の松岡・宮家組(後)

シニア単 磯村信連覇

シニア単(男子60歳・女子50歳以上の統合戦)は5人。決勝は磯村が谷口に快勝して2連覇を達成。紅一点・上原が健闘。初戦、谷口に3−6で屈したが3決は渋谷に快勝し、表彰状。

シニア単2連覇の磯村(前左)、準Vの谷口(前右)、3位の女子・上原(後右)と渋谷(後左)

混複 MATCが仇討ちV

混複は7組。前年3位の小笠原夫妻がシード。決勝は小笠原夫妻を7−5で倒した梅村・加茂組と、川西夫妻に7−5で辛勝した伊藤・伊藤組の決勝。梅村・加茂組が6−1で快勝して初優勝。仲間の仇を討った格好。

3決は小笠原夫妻が川西夫妻に7−5で競り勝った。

高校複 男子・窯業勢 女子・聖霊勢

高校男子複は強豪・瀬戸西勢が不参加。瀬戸高−瀬戸窯業対抗戦の様相。窯業が4強を独占した。

同女子複は聖霊−瀬戸窯業。地力に優る聖霊が4強を占めた。

◇

「5月猛暑」。本部席の温度計は壊れているのか46度超。熱中症で高校女子が相次ぎダウン。救急車を2度呼んだ。「ヒートルール」適用必要か。

◆3決で完敗の渋谷＝『いかん！男の沽券に拘る(差別発言？)。ミスを減らすのとバックが課題。練習積んだら一般単に出られるようになりますか？』(「目標まずシニアVでしょう」＝近藤)

第70回市民大会　華やか開会式

23競技に約5千人熱戦

市民大会総合開会式、団旗集結し選手宣誓

市制90周年・第70回市民体育大会の総合開会式が5月26日(日)午前8時過ぎから体育館で開かれた。市体協加盟の23団体が参加。テニス協会からは役員ら6人が出席。

開会宣言、大会会長挨拶、来賓祝辞の後、選手宣誓。各団体が団旗を集結させ、瀬戸クレー射撃協会の小篠順一選手が力強く「全力を尽くす」と誓った。

表彰ではテニス「ねんりんピック富山2018」で愛知3度目優勝の原動力となった高木順(前会長)が5号表彰(県代表として全国大会などで活躍)を受けたほか、長距離と二刀流の脇野伸行(陸上競技協会)が県「モリコロ駅伝」瀬戸8位入賞に貢献し、8号表彰を受賞。テニス一般単で前年3位の脇野(フリー)は今回は初戦をタイブレで辛勝したが、準々決勝途中でリタイア。

市民大会は来春まで23競技・28大会に約5千人が出場。

副会長に沢松和子

日本テニス協会は5月28日、都内理事会で2019～20年度の役員候補者を承認した。1975年・全英女子複でアン・清村とのペア優勝した吉田(旧姓・沢松)和子が副会長として名を連ねた。6月の理事会で正式決定。任期は2年。

福井烈専務理事は「テニス界のレジェンドに旗を振っていただくことは大きい」と談話。

錦織、大坂ら強化指定

日本テニス協会は6月18日、東京五輪へ向けた強化指定選手を発表。女子は大坂ら9人、男子は錦織、西岡ら6人。コーチ、トレーナー、フィジカルコーチを派遣して支援する。4大大会だけでなく、夏の北米のツアー大会などにも派遣先を広げて手助けする。

準々決勝、ナダル㊧に1―6、1―6、3―6で敗れた錦織㊨

全仏　両エース無念の握手

3回戦、42位・シニアコバ㊧に2―6、4―6で完敗した大坂㊨

全仏前哨戦・伊国際

錦織4強逃す

全仏前哨戦のイタリア国際(5月16日まで・ローマ)で第6シード・錦織は初戦の2回戦で過去2戦2勝の52位・フリッツ(米)に6―2、6―4で快勝。同日の3回戦で51位・シュトルフ(独)に3―6、7―6、6―3の逆転勝ち。2年連続で8強入りしたが、準々決勝で24位・シュオーツマン(アルゼンチン)に4―6、2―6のストレート負け。4強入りを逃した。

予選上がりの75位・西岡も初戦でシュオーツマンに1―6、4―6で敗退。

第2シードの「土屋」ナダル(スペイン)が絶好調。第1シード・ジョコビッチ(セルビア)を6―0、4―6、6―1で下して優勝。

大坂 右親指痛め 準々決勝を棄権

女子第1シードの大坂は初戦の2回戦で33位・チブルコバ(スロバキア)を6―3、6―3。同日の3回戦も29位・ブザルネスク(ルーマニア)に6―3、6―3で快勝して初の8強入りを果たした。

しかし翌朝、右手親指付け根痛を訴え、準々決勝の4位・ベルテンス戦を棄権した。大坂は会見し、「起きたら親指が痛くてラケットが握れなかった。初めてのこと。プレーしたかったので悲しく残念」と話した。

全仏を前に大事をとったか、表情は意外に明るかった。

女子複で準々決勝へ勝ち進んでいた青山(近藤乳業)・マザロワ(ベラルーシ)組は第1シードのクレイチコバ・シニアコバのチェコペアに4―6、5―7で敗れた。

◇

全仏直前のジュネーブ・オープン男子単で西岡は1回戦でガルビス(ラトビア)に2―6、6―7で敗れた。

伊国際・準々決勝棄権を発表する大坂

西岡、奈良 2回戦負け

男子単の西岡は初戦でマクドナルド(米)にフルセットの逆転で全仏初白星。2回戦で第8シード・デルポトロ(アルゼンチン)に敗退。ダニエルは1回戦で第14シード・モンフィス(仏)に完敗。

男子複の西岡・ベランキス組は2回戦負け。第15シードのマクラクラン勉・シュトルフ組は初戦で仏ペアに敗れた。

女子単、予選上がりの奈良は1回戦を突破したが2回戦でセレナ(米)に3―6、2―6。土居は初戦で第7シード・スティーブンス(米)に3―6、6―7。

女子複で昨年準Vの穂積・二宮組は初戦で米ペアに逆転負け。日比野・ボラコバ組も敗退。

混複の穂積・マクラクラン組、青山・シャラン組ともに初戦負け。詹(せん)詠然(台湾)・ドディグ(クロアチア)組が2連覇。

チェコ、米にまた新星

女子4強に10代のノーシード2人。19歳の左利き・ボンドロウソバ(チェコ)はコンタ(英)に第1、第2セットとも3―5から逆転、7―5、7―6で決勝へ。17歳のアニシモバ(米)はハレプの2連覇を阻んだ。バーティには逆転負けしたが、ウィリアムズ姉妹の後継争いの有力候補に。そのセレナは3回戦でケニン(米・35位)に敗れた。

ノーシードで4強のアニシモバ

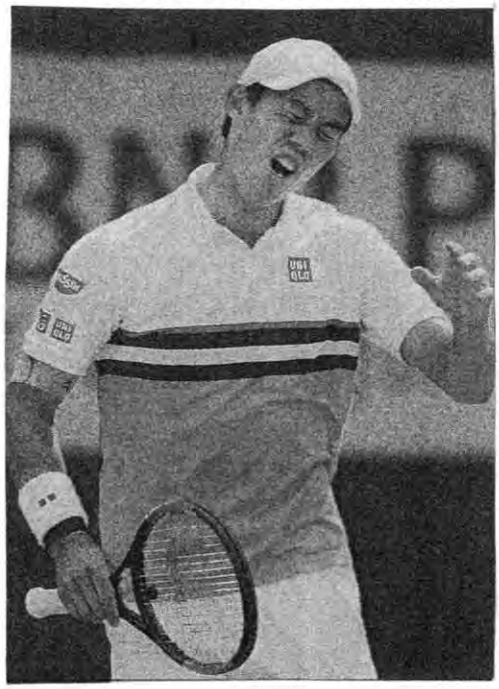
錦織 準々決勝 ナダルに屈す

全仏 「赤土の王者」がティエム下し3連覇

「逆転の圭」不発／大坂は3回戦敗退

全仏(6月9日まで)男子、錦織(29歳)は準々決勝でナダル(スペイン・33歳)に完敗。ナダルは決勝でティエム(オーストリア・25歳)を下して3連覇、12度目V。女子第1シードの大坂(21歳)は3回戦でシニアコバ(42位・チェコ・23歳)に敗退。第8シード・バーティ(豪・23歳)が初V。

ナダル戦、ポイントを落とし悔しがる錦織



その瞬間、コートに倒れ込んだナダル。表彰式で高々と優勝カップ

圭3連戦 体力残2割

男子8強ほぼ上位陣。3連戦の錦織はナダル」に完敗、2勝11敗に。「体力が15～20%しか残ってなかった。万全でなければ食い下がるのは難しい。つらい中でもう少しいい試合がしたかった」。2回戦・難敵ツォンガ(仏)、3回戦・新鋭ジェレ(23歳・32位・セルビア)、4回戦・曲者ペール(38位・仏)を死力の逆転。2年ぶり3度目の8強入りだったが、体力の消耗が激し過ぎた。「3回戦、4回戦の最終セット、もうダメかと思ったが、1ポイントに集中、必ずチャンスは来ると信じた」と談話。

ナダルとの準々決勝。「下がらず先に攻撃」に徹し会心のウイナーも奪ったが、ナダルの回転量の多い、重く深い球に押され、第1、第2セットとも1－6。「逆転の錦織」も第3セット、雨中断をはさんで3－6の抵抗が限界だった。

ナダル全仏93勝2敗

決勝はティエムに過去8勝4敗のナダルが3－1で制してV。全仏93勝2敗・決勝全勝は驚異的。ジョコの4大大会4連勝ならず。

複はクラビーツ・ミース組(独)がシャルディ・マルタン組(仏)を6－2、7－6で下して初優勝。

逆転辛勝 錦織ガッツポーズ3連発

2回戦・ツォンガ

3回戦・ジェレ

4回戦・ペール

女子 バーティ 初制覇

女子は上位陣が倒れ混戦。ハレプも4強ならず。決勝はバーティ対ノーシード・ボンドロウソバ(チェコ)。バーティが6－1、6－3で4大大会初V。2億3800万円を獲得し2位に躍進。13年・複で大活躍。14年・全米単初戦敗退で「燃え尽き」、2年間クリケットに転向。16年、623位で復帰。

複はバボシュ(ハンガリー)・ムラデノビッチ(仏)組が段・鄭組(中国)に6－2、6－3で快勝し初V。

初Vのバーティ。カップの味は？

大坂 覇気なく

4大大会3連勝がかかった女子の大坂は初戦緊張。99位・シュミドロバ(スロバキア)に0－6の最悪スタート。第2セットもタイブレで取る苦戦。最終セットは6－1で制した。2回戦、元女王のアザレンカ(ベラルーシ)を4－6、7－5、6－3。気迫の逆転。

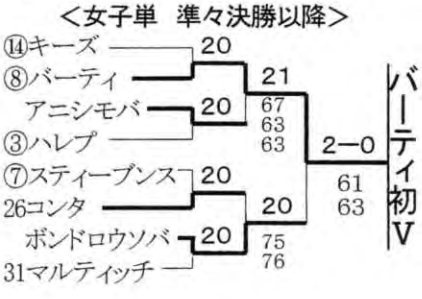
3回戦は複1位のシニアコバ。粘られてブレークチャンスを逃し、逆に破られ4－6。第2セットも立て直せず2－6。アザレンカ戦の気迫がなく淡白。ミス連発、走り負け、追いもせず何度も打ち抜かれた。執念で劣り完敗。グランドスラム3連勝の夢は早々に消えた。

ジョコ 4連勝ならず

<男子単 準々決勝以降>

女子4強に10代2人

<女子単 準々決勝以降>



全仏ジュニア 望月健闘4強

全仏ジュニア男子単で望月慎太郎（16歳・Team YUKA）が準々決勝をストレート勝ちで突破して4強入り。準決勝で米選手に屈し、決勝進出はならなかったが、単でジュニア時代の錦織を上回る好成績。斎藤恵佑（グローバルプロTA）も3回戦進出の健闘。

女子単で第7シードの川口夏実（Club MED）も3回戦へ進む奮戦。

全仏 車いす 上地 決勝完敗 単3連覇ならず

全仏車いす女子単準決勝で第2シードの上地結衣（25歳・三井住友銀行）はバウス（オランダ）に6－4、7－5で競り勝ち決勝進出。第1シード・デフロート（オランダ）との決勝は1－6、0－6の完敗。3年連続4度目の優勝ならず。デフロートは昨年の全英から4大大会4連勝。

複の上地・カポッチ（伊）組は初戦で第1シードのオランダペアに敗れた。

国枝は準決勝敗退

男子単の国枝慎吾（35歳・ユニクロ）は準決勝でリード（英・リオ五輪「金」）に6－2、6－7、2－6で逆転負け。2年連続8度目優勝はならなかった。

フルセット勝率0.745 錦織 歴代1位

全仏、錦織はフルセットにもつれ込んだ3、4回戦に辛勝。これで最終セットとなった試合は132勝45敗・勝率7割4分5厘。1968年オープン化以降、歴代最高（ATP発表）で、「最終セットの圭」が数字で示された。

2位はジョコビッチの7割4分。3位・マッケンロー（米）、4位・ボルグ（スウェーデン）、5位・レーバー（豪）と往年の名選手の記録をしのぐ。

「集中力 上がる」

錦織は接戦に強い要因を「集中力が落ちず、最終セットになると逆に上がってくる感じはある。諦めないことが最も大きな力になる」と話す。

錦織のクレーコートでの勝率は71％。得意のハードの68％を上回る。

2回戦でプチンツェワに完敗の大坂。約5か月の女王の座をVのバーティに譲った

全英前哨戦 2回戦負け 大坂、世界1位明け渡す

在位5か月 バーティに

大坂が6月24日付けランクで世界1位から陥落した。

全英前哨戦の1つ・女子の「ネイチャーバレー」で第1シードの大坂は初戦で33位・サカリ（ギリシャ）を6－1、4－6、6－3で退けたが、2回戦で43位・プチンツェワ（カザフスタン）に2－6、3－6で敗退した。

昨季の初対戦で敗れているだけに、「彼女はファイター。全力でぶつかってくる」と警戒して臨んだが、女王としての実力を出し切れないままストレートの完敗。うつむいて重い足取りでコートを去り、罰金覚悟で試合後会見を拒否した姿にショックの大きさが表れていた。

第1セットからショットが不安定。ミスが目立ち、5ゲームを連取され、簡単に失う。第2セットは3－2とリードしたが、再び不安定なプレーに陥り、4ゲームを連取されて幕。

全仏Vで2位のバーティ（豪）がこの大会決勝でゲルゲス（独）を6－3、7－5で下し優勝、初の1位に就いた。大坂は1月28日付けの1位から在位約5か月で女王の座を明け渡した。

デ杯パートナーに楽天

国際テニス連盟は6月4日、デビスカップの大会パートナーに楽天が決まったと発表。契約は2020年まで。

3Qの答え

A1：47組（うち5組はWO・募集64組）
A2：奥村孝二ー八百山浩幸。奥村が優勝
A3：アシュリー・バーティ（全仏V・豪の23歳）

藤井君 郷土沸かす

ハンディ戦・12面指し

「瀬戸将棋まつり」で小学生に12面指しで指導する藤井君㊨。弟弟子・長沢君に白星プレゼント。公開対局の木村九段戦には快勝

瀬戸将棋まつり

プロ棋士・藤井聡太七段（瀬戸市川北町・7月19日生まれ・16歳）が5月25日「瀬戸将棋まつり」に参加。小学生以下大会の入賞者12人とハンディ対局で指導した。杉本昌隆八段の教室に通う市内幡山西小6年の長沢魁君（12歳）が勝利。「鋭い攻めがいいとほめられた。勝ててうれしい」と歓喜。

瀬戸で初の公開対局、木村一基九段戦は129手・攻め切って勝利。2400人から選ばれた約1300人の満場のファンを沸かせた。26日は斎藤慎太郎王座と菅井竜也七段の対局を杉本八段が解説。

◇

竜王戦 決勝Tへ進出

藤井君は竜王戦予選4組決勝で過去2連敗の苦手・菅井七段（前王位・27歳）に千日手指し直しの末に初勝利。3組昇級を決め、広瀬章人竜王への挑戦者を決める決勝トーナメントへ進出。名人戦順位戦C級1組開幕戦では村田六段を下し、B級2組昇級へ好スタート。

棋王戦は本戦入りへあと1勝に迫っていたが、予選8組決勝で都成竜馬五段に敗れた。

豊島（一宮出身）名人奪い3冠

豊島3冠

羽生九段

群雄割拠の棋界に豊島将之新名人が誕生。王位、棋聖と合わせて3冠。一宮出身の29歳。5歳で関西転居。仲間の研究会には加わらず、専らAIで「探道」。藤井君とのタイトル戦期待。

一方、無冠の羽生善治九段が1434勝目をかけた木村九段戦には敗れたが、6月4日、王位戦リーグで永瀬拓矢叡王に勝って大山康晴永世名人の最多勝記録を更新した。

無冠の羽生 最多1434勝目

偉大なり日本の母

バスケの八村塁（写真㊤・21歳・米ゴンザガ大）がNBAドラフト1巡目9位指名でウィザーズ（ワシントン）へ。本場で見せろ豪快ダンク！サニブラウン（写真㊦・20歳・フロリダ大）は100㍍9秒97の日本新。桐生の記録を更新。東京五輪3人枠の選考が大変だ。大坂なおみをはじめ、日本人の母性はよほど優秀といえそう。

ハングルショット

○…混複大会、4強戦以降はテレビに出しても恥ずかしくない高レベルの好ゲーム。インカレの実力が存分に見られて満足。強打をしのぐ女子陣の奮闘も見事。

○…市民大会男子単、ヤオちゃん急追及ばず。奥村久々のV。「髙木さんは？」と父子の欠場を残念がってましたよ。酒井の4強入りは「あっぱれ」。

○…全仏、大坂は新旧女王戦に逆転勝ちしたが42位に完敗。錦織はナダル戦を前にヘトヘト。でも8強は健闘でしょう。大坂1位陥落。「仏頂面が自滅の入り口」に気付けばいいのにね。さあ、全英！（業務理事・近藤）

STKニュース

瀬戸市テニス協会・業務部発行の会報。原則隔月。1975年（昭和50年）に創刊。98年から定期刊行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。2000年・第11号から理事・近藤峰夫が編集・郵送。大会結果は随時、協会ホームページにアップ。

次号は「100歳複」後